

地域活動の活性化に向けたワークショップの実施業務

報告書

大池小学校区

令和3年3月31日

茨木市 市民文化部 市民協働推進課

受託事業者：株式会社地域計画建築研究所 大阪事務所

大池小学校区 ワークショップ実施概要

テーマ	未来の大池を見据えたまちづくりワークショップ		
実施内容	第 3 回	令和 2 年 11 月 28 日（土）19 時-21 時	18 人
		新自治会長を中心に、自治会運営課題の共有と洗い出し	
	第 4 回	令和 3 年 3 月 20 日（土）18 時 30 分-20 時 30 分	17 人
		第 1 回テーマからどんな取り組みができるか考える	
結果概要	○新自治会長の課題共有、洗い出し ・前年度からの継続での実施ではあるが、自治会長が交替しており、参加者が大幅に変更されているため、ここまでのワークショップの振り返りと過去の経緯の再確認として資料読み込みの時間をとった。 ・過去の議論をベースに、新しい自治会長からも意見抽出を行い、本来第3回として予定されていたアイデア出しのための土台の議論を行った。 ・議論のテーマとして、コロナ禍で新たに見えてきた課題を加え、新会長同士が悩みや不安、行事実施が難しいことなどを言葉に出すことができるよう配慮した。 ・前回の議論に加えた意見抽出を行うことができた。 ○取り組みアイデアを考える ・前回ワークショップで抽出した意見から 6 つの大池のテーマを抽出して提示し、それぞれ話したいテーマを選んで意見交換を実施した。 ・6つのテーマの中からテーマを選択したグループと、自ら話したいことを提示したグループに分れ、それぞれ活発に意見交換が行われた。 ・大学生との連携、地域ボランティアや有償ボランティアなど、新しい参加のきっかけをつくるという意見や、地域と地域、困り事・相談事と解決をつなぐ仲介人のような存在を地域で育成するなどの意見がでた。 ・自治会長の1年交替のメリット・デメリットや、複数の自治会を超えた役員体制など、自治会のあり方をもっと議論していく場をつくりたいという意見がでた。		
来年度以降に向けて	アイデアを行動計画へつなげていくため、今回抽出された以下のようなテーマで、話し合いを継続していくことを地域に促していけるとよいのではないかと。 ・会長交替や、自治会を超えた役員体制などの検討。 ・効率的な情報発信として、ホームページやメルマガの活用。高齢世代でも SNS などを使いこなせるようなサポート体制づくり。 ・名簿がなくてもつながりのある関係性づくり、若手世代との交流づくり。 ・事業者への委託など、自治会運営における負担を軽減する方法。 ・地域ボランティアの制度をつくり、若い方が気軽に参加できる環境づくり。		

【WSの様子：写真】



大池地区まちづくりワークショップまとめ



まちとしごと総合研究所

全2回のワークショップの内容

日時	テーマ	内容
令和2年11月28日 19時～21時	新自治会長を中心に、自治会 運営課題の共有と洗い出し	昨年度のワークショップの実施から時間が経過し、自治会の役員も年度が変わり、新自治会長に交代しているため、再度これまでの議論の振り返りをメインに実施。これまでの議論をもとにしつつ、改めて新自治会長の目線から、共感できること、これまでにない視点などの議論を行った。
令和3年3月20日 18時30分～20時30分	第1回テーマからどんな取 組みができるか考える	昨年度議論されてきたことと、前回新たに議論された内容をもとに、「実際にこんな取り組みができないか？」という具体的なアイデアを出し合うワークショップを行った。

第1回は開始時に男女別の配置だったため、男女比の調整を行い3グループを配置
第2回は自治会長会からのグループ配置のまま人数調整のみを行い3グループを配置

第1回ワークショップの話し合い内容

- ・ コロナ禍の間に各自治会も役員が変わっています。
- ・ 前年度の話し合いの意見を、メンバーで改めて検討してみましょう。
- ・ 以下の4つの論点で意見交換をしましょう！

- ①話し合われてきた大池の課題や自治会課題に思うこと。
- ②これまでの話し合いに加え、あなたの思う自治会運営上の課題は？
- ③これまでの話し合いでの課題を、さらに深掘りすると…？
- ④コロナ禍で生まれた新しい運営上の課題はありますか？

- ・ 次回は実際に課題を解決するためのアイデアを話し合います。

2019年度のワークショップの意見

大池校区の魅力	大池校区の現状課題	大池校区のありたい姿	現状をありたい姿に近づけるために必要なこと
■住環境の良さ ・お店がたくさんあり便利 ・交通の便がよく駅が近い	■住環境に課題が生まれてきた ・自転車、交通マナー、通り抜ける車の増加 ・空き家が増えている	■安心安全/つながりがあるまち ・事故や犯罪のないまち ・住民同士のおつきあい、挨拶があるまち ・世代を超えた関係づくりができるまち ・困っている人を助け合い解決できるまち	■イベント・行事が活発に行われるために ・イベント、行事を見直し、必要なものを残す ・年齢や地域差を考慮した活動の見直し ・SNSなどを活用した情報発信
■地域活動に熱心 ・リーダーが熱心に取り組んでいる ・他地域に先駆けた取り組みをする ・委員が多く取り組みが多い	■地域の担い手、運営の課題 ・役員が同じ顔ぶれになっている ・役員の負担が増えている ・1人で役をたくさん兼ねている ・若い方が自治会に入らなくなっている ・子ども会に入らなくなっている		■地域組織の運営が活発に行われるために ・運営の難しい問題が解決していける仕組み 例) 自治会に入っていなくても子ども会に入れる仕組みがあれば… ・役員の負担を軽減 ・若い人が手伝うことができる仕組み ・若い人がイベントの楽しさを知る体験
■若い世代が暮らしやすい ・新しい住民を受け入れてくれる ・子育てしやすい	■行事運営の課題 ・年配の方が準備をしている ・行事の参加者が減っている		
	■コミュニケーションの課題 ・1人暮らしの高齢者の増加/孤独死 ・個人情報の壁・近所のことわからない		

過去の議論の整理をもとに、以下の観点から意見交換を行う

- ①話し合われてきた大池の課題や自治会課題に思うこと。
- ②これまでの話し合いに加え、あなたの思う自治会運営上の課題は？
- ③これまでの話し合いでの課題を、さらに深掘りすると…？
- ④コロナ禍で生まれた新しい運営上の課題はありますか？

第1回ワークショップでのグループごとの意見

1 班	2 班	3 班
会員が運営の仕組みを知らない	自転車、交通ランプなどの設置	通り抜けの車が増えた
話し合いの機会がない	年齢が高い人が多い	若い人たちが参加しやすく
会員の熱量に差がある	子ども会がない	イベント・行事の見直し
苦情をうけるのが大変	年配の人が役をしている	住民年齢に地域差がある
運営方法がわからない	年配の人が準備をしている	年配の方が準備をしている
役割が多い	役員の負担（役割）が増加している	高齢者でもできる行事運営
役員の決め方に困っている	役をたくさん兼ねている	行事のマナー化
回覧板が頻繁にまわる	役員が同じ顔ぶれ	街灯が少ない、不法投棄が多い
地域同士のコミュニケーション	若い人が自治会に入らない	掲示板の有効活用・情報発信
楽しんで活動するには？	リーダー不足	ゴミ問題・一斉清掃の不参加
自治会に入るメリットがない	役のまわりが早い	大学生・中学生の協力
前役員とのやり方の違いで苦情がでる	ゴミの出し方の問題（注意ができない）	ちょいボラ・行事のお手伝い
若い人へ声掛けができていない	書面でのやりとりが難しい	行事準備の曜日を変える・業者に頼る
世帯数の少ない班の負担が大きい	回覧板をまわすのも大変	現行の班の規模の見直し、解体統合
班と自治会ではつながりに差がある	認知症の方は回覧が大変	自治会の会則・基本的な考え方の作成
役員の役割を明確にする必要がある	次の役決め、引き継ぎが大変	リーダーの育成
1回役を受けたら1回で済まない	副会長との役割分担	近所付き合いが減った
掲示や情報をもっと見てもらうには？	見習いの仕組み	オンライン会議のしくみ
運営がわからない時は聞いてほしい	行事のよさと大変さがわかった	マスク着用が徹底できていない

①

②

③

④

※色分けの基準は前ページ①～④に左記のように対応

第2回ワークショップの話し合い内容

**テーブルのメンバーがもしも1つの
「自治会の改革チーム」だったら…**

- ①昨年度・前回のワークショップで抽出した大池地区の6つのテーマ
- ②黄色のゾーン、青色のゾーンからそれぞれ1つずつテーマを選択してください
- ③そのテーマを解決するアイデアを自由に話し合ってみましょう。
- ④最後に考えたことを発表し、共有しましょう。

アイデアを出す時に大事なポイント

- ①「知らんけど」（ホントにできるかどうかはさておき…）で大丈夫です。
- ② 日頃まちで暮らす自分、友人、ご近所さんを思い浮かべながら…

第1回ワークで抽出された意見をもとに整理したテーマ

①自治会同士の共有、規模にあったきめ細かい支援のあり方	④若者が地域へ関わるきっかけづくり
・他の自治会の様子、やり方がわからない ・自治会そのもののあり方を話しあう場がない ・自治会の人数や規模が違っていると、共通のやり方が当てはまらないこともある 【テーマ】 ・自治会、自治会長同士の情報共有や研修の方法とは？ ・人数や規模に応じた適切な自治会運営の方法とは？	・準備に来てくれるのは年配の方が多く、体力的な負担が大きい ・中学生に行事のサポートをお願いできないか ・自治会に加入していなかったり、住んでいないが大池で働いている方から、行事のボランティアを募れないか ・ボランティアを受け入れるためのプログラムづくり ・ちょっとした関わりからリーダーの育成へつなげる循環づくり 【テーマ】 ・地域に関わる若者が増えていくような仕組みづくりとは？ ・自治会に所属していなくても地域に関われる仕組みとは？
②自治会の運営に必要な外部からの支援	⑤地域の情報発信の見直し
・基本的な会則を作成し、校区内である程度統一してもいいのではないか ・コロナ禍で書面の作成などが個々の自治会では大変だった ・役員の役割の増加、役がまわってくるのが早い →若い方の辞める理由につながる ・引き継ぎのやり方が難しい、運営方法がわからない →前任者とのギャップがクレームに… 【テーマ】 ・どんな支援が自治会にあると運営がしやすい？ ・自治会だけで難しいことはなにか？	・大池の魅力や協議会の魅力を知ってもらう機会づくり ・掲示板をもっと有効活用できないか ・配布物の優先順位づけ、配布負担を減らす ・ホームページの作成や活用 ・ICTやオンライン会議の活用、仕組みづくり 【テーマ】 ・地域のどんな情報をどう発信するといい？ ・地域の情報発信をもっと効率的にするには？
③行事や活動のあり方検討と、見直し整理の方法	⑥まちの気になる課題
・高齢化してもできる運営スタイルの模索が必要 ・年配の役員が多いことをどう考えるか ・イベント、行事の見直しをして整理することが必要 →行事の意味、意義を改めて確認する ・動員しなければならない行事は負担感が大きい 【テーマ】 ・シニア中心でも運営できる活動と行事のあり方とは？ ・誰もが納得感のある活動や行事の見直し方法とは？	・交通問題→自転車マナー、自動車の通り抜け ・街灯が少ない ・不法投棄 ・高齢者の孤独死 ・子ども会の加入やあり方の問題

ワークでのご意見とアイデア（1班）

話し合いのテーマ	主な意見	今後の取り組みに向けたアイデア
シニア中心でも運営できる活動と行事のあり方とは？	・ 前任者からの引き継ぎは比較的しっかりとされている。 ・ 他の町内との情報共有の場があれば、様々な情報が共有されるのではないかな。 ・ 年配層はPCを使うことができないので、書類作成の効率化が難しい。働いている方はシニアでもPCを使うことができる。	・ 力仕事は業者に頼む。 ・ 行事の準備は業者の力を借りて、当日の運営は若い人も参加してもらい、負担を軽減して運営する方法を考える必要がある。
地域に関わる若い世代(若者)が増えていくしくみとは？	・ 前提として「若い方の意見がある方がなぜいいのか」を考える必要がある。 ・ 若い世代は、まちがよくなることが、自分にどのようなつながるのか想像しにくい。 →防災、日頃のコミュニケーション、運営することは楽しみにもつながるのではないかな？ ・ 3世代交流として餅つき大会などを以前は実施していた。 ・ 以前は、大学生のボランティアとチラシの配布などもしていた。	・ 若い世代と年配層のコミュニケーションの場が必要。 ・ 一緒にごはんを食べる機会は、コロナでもなんとかできる形を模索したい。 ・ 大学生と一緒に地域活動ができるような方法を考えてたい。 ・ 地域アルバイト、有償ボランティアを活用して、地域の負担の軽減や、若い世代が関わるきっかけにできないかな。
地域の情報発信をもっと効率的にするには？	・ 地活協がメルマガでの情報発信を行っており、HPもまもなく完成する。 ・ 今年は、連絡をとる機会が多くはなかった。 ・ 現時点では、SNSの必要性などは感じていない。 ・ 配布物には、頭紙をつけるようにしていて、その作成や印刷がとても大変だった。 ・ イベントの報告ではなく、これから実施するイベントの紹介を発信していくほうがいい。	・ 町内の情報を、協議会がHPやメルマガで代わりに発信していくような取り組みを行う。 ・ イベント写真、原稿を各自治会から送付してもらい、掲載していくような仕組みをつくる。

ワークでのご意見とアイデア（2班）

話し合いのテーマ	主な意見	今後の取り組みに向けたアイデア
個人情報と地域のつながりについて考える	・自治会名簿は必要なのか（テーブルの5自治会のうち、作成済4、未作成1） ・災害等の緊急時に使用することは理解しているものの、強制力がないため個人情報を得るのが難しい。 ・個人情報を得ずとも、普段からのつながりがあれば名簿は不要という考え方もある。 ・無理に作成する必要もないのではないか。	・名簿を作らず関係性を高めていくよう考える。 ・地域のつながりづくりのため、交流の場や井戸端会議などにしっかり取り組んでいく必要がある。「お父さんの会」のような取り組みも地域にある。 ・同世代の親密感や、世代を超えた交流などそれぞれに配慮が必要。
役員会議のあり方について考える	・自治会長の会議が定期的に行われるが、参加者が面白いと感じるようなものに変えていく必要があるのではないかな。 ・懇親会は楽しい雰囲気生まれやすいが、コロナ禍では実施が難しい。 ・会議だけでも楽しい時間にできれば、若い方も役割を前向きに捉えてくれるのではないかな。 ・若い方は効率的な運営の方がいいという意見が多いので、楽しみと効率的な運営のバランスが重要。	・自治会運営が楽しくないため、負担軽減や効率化することばかり考える負のスパイラルに入ることを変えなければならない。 ・毎年会長が変わるメリットとデメリットを考える場をつくって深く話し合いたい。
「自治会の壁」について考える	・自治会にはいろいろな考え方の人が集まっており、それをもとに運営が成り立っている。 ・運営方法や自治への考え方には、年配の方と若い方の間で「壁」があるように感じる。 ・この壁によって、考え方や会議、話し合い方など、運営方法においても相違がでている。 ・壁は確かにあるが、どんな壁なのかは自治会や地域によっても差がある。	・壁そのものを壊すことは難しいのではないかな。 ・シニア世代と若い世代の間にたつような仲介人の存在や育成が重要。 ・話を聞いたり、まとめたりするスキルが求められるので、ファシリテーターからやり方を学ぶような場を設ける。

ワークでのご意見とアイデア（3班）

話し合いのテーマ	主な意見	今後の取り組みに向けたアイデア
情報発信、共有をどう効率的に行うか	・高齢者への情報発信、伝達の方法をどうすればいいか。 ・高齢者でもLINEをやっている人とやっていない人がいる。 ・自治会内の情報共有が難しい。 ・コロナ禍で情報の格差がかなり大きくなっている。 ・若い人は自分から情報を得ることができるが、高齢者には中々情報が届かない。 ・掲示板の掲示物の張替えは負担が大きい。 ・回覧版は中身によって見る、見ないが大きい。	・役員でLINEなどが使えない人がいた時に、頼れる人、聞きに行く先が重要。例えばコミセンがある。
役員、イベントをどうするか	・祭りや運動会では、「〇〇町ごとに●名を出さなければならない」という決まりがあり、役員になれば動員が負担になっている。 ・責任感がある方が多く、無理してでもやっている役員が疲弊してしまう。 ・人手不足が顕著で、役員に推薦できる人がいない。 ・役員の当番制は良し悪しがあり、推薦者を探さなくてもよい反面、受け入れてもらえる人をみつけるまで決められない状況になる。 ・役員になれば労力だけでなく出費もかさむのが問題。 ・誰にでもできる仕組みをつくる必要がある。 ・バスツアー、バーベキュー、食事会などの交流の場がない。	・相談できる人や機関（コミセン・行政等）と検討する機会を持つ。 ・チームでできる仕組みを構築する。 ・マニュアルの整備。 ・必ず引き継ぎをする場を設ける。 ・報奨金など役員への感謝を示す仕組みを検討。 ・複数の自治会を超えた全体役員や、連合的な方策ができないか。人数が少ないことを超えた集合体の形を検討することが有効ではないか。

ワークショップを終えて～今後の方向性について

①全体を通しての成果

- ・大池地区の「未来のありたい姿、これまでの課題」を共有することができた。
- ・自治会長の代替わりをうけて、再度、地域運営における課題の洗い出しができた。
- ・洗い出した課題をベースに、6つのテーマを抽出することができた。
- ・抽出テーマをもとにした取り組みのアイデアの種を出し合うことができた。

②今後の方向性

- ・アイデアを行動計画へつなげていく話し合いを継続して実施。
- ・会長交替や、自治会を超えた役員体制などの話し合い・検討を継続して実施。
- ・効率的な情報発信として、ホームページやメルマガを活用する。
- ・高齢世代でもSNSなどを使いこなせるようなサポート体制づくり。
- ・名簿がなくてもつながりのある関係性づくり、若手世代との交流づくり。
- ・事業者への委託など、自治会運営における負担を軽減する方法を検討。
- ・地域ボランティアの制度をつくり、若い人が気軽に参加できる環境をつくる。

参考資料

ワークショップ当日資料等

未来の大池を見据えた展開のために ～大池地区まちづくりワークショップ～



まちとしごと総合研究所

地域活動の活性化に向けたワークショップ

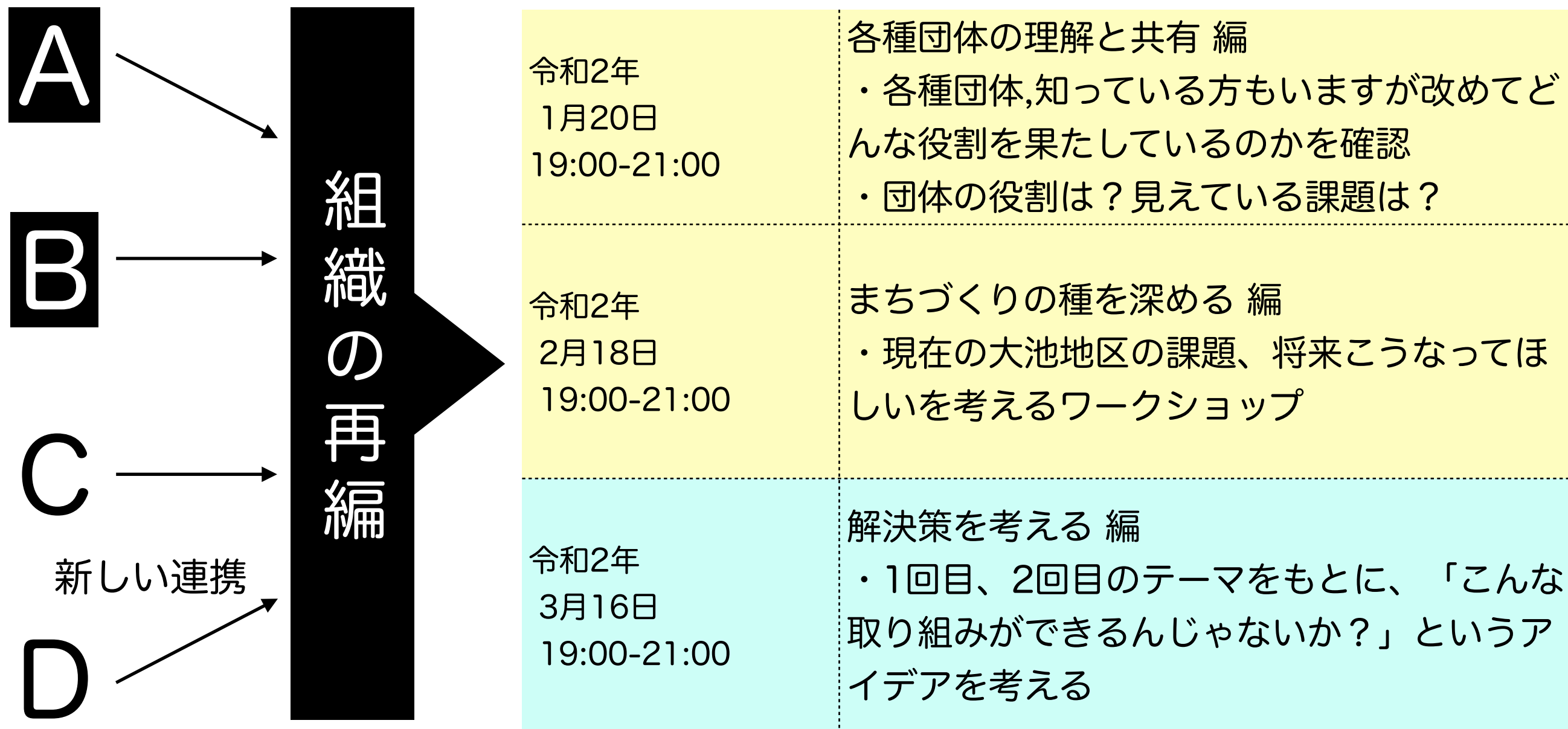
ごあいさつ

本日のおおよその流れについて

時間	内容
19:00～	ごあいさつ、趣旨説明
19:05～	これまでのおさらいと共有
19:15～	自己紹介/アイスブレイク
19:30～	グループワーク
20:30～	全体での共有
20:40～	閉会挨拶・次回のご案内
20:45～21:00	閉会予定 ※話し合いの進捗で前後します

これまでのおさらいと共有

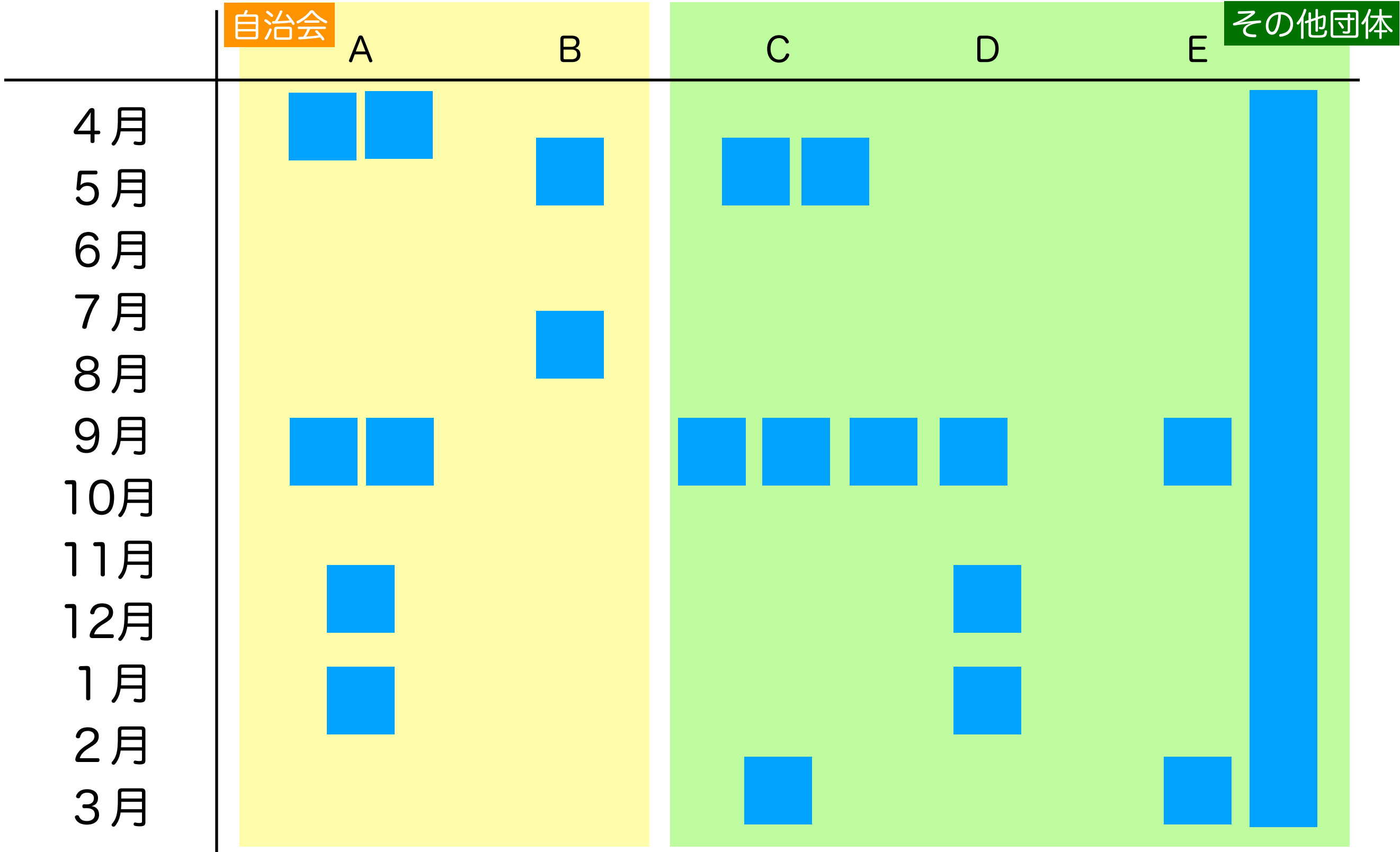
これからの地域づくりが始まる大池



これからの大池で展開してほしい取組みの種を生む

自治会・地域団体の仕事の棚卸しで相互理解

いつどんな仕事をされていますか？



第1回目 各種団体の理解と共有 編

月	自治会	自治連	自主防	公民館	福祉	民生	こ育連
4	総会年度末、総会新年度、総会こども会、総会老人会、総会自主防災、老人の誕生日のお祝い粗品	年度始め総会、新役員顔合わせ、事務会議	自主防役員会	役員会、運営委員会、年度収納館長主事会議	子育てサロン、委員会会議、福祉委員会、社協からの補助金支援のための作業計画の作成、各部会の業務推進、各協委員会の出席		こども会新規加入のためのイベント（ボール遊び）、関係機関の会議への出席、各関係機関のイベント参加
5	赤い羽根募金、掲示板の管理、市・自治会長説明会	第2回役員会、自治会長会議、年度初め総会	自主防総会、防犯総会、自主防事務局会	公民館講習会、講座生徒募集（10講座、5講習会）		総会街頭啓発	春季大会の準備、キック・ソフトの練習と調整、各関係機関のイベント参加、こども会のイベント参加
6	一斉清掃、各委員会、自治会、防災会後の花見、大池まつり協賛金のお願い、大池まつり臨時総会出席	事務会議	自主防役員会、研学会	講座・講習会始まり（年間12回）	子育てサロン	役員会（体育祭）、運営委員会	各関係機関のイベント参加、こども会のイベント参加
7	茨木神社まつり、体育祭打合せ、敬老会手伝い、体育祭参加賞の購入、ラジオ体操	第3回役員会、自治会長会準備会	夜間パトロール（防犯）、自主防事務局会、防災委員会の登録・確認	役員会（体育祭）、運営委員会			各関係機関のイベント参加、こども会のイベント参加

第1回目 各種団体の理解と共有 編

月	自治会	自治連	自主防	公民館	福祉	民生	こ育連
8	夏休みのパトロール3日間、大池まつり、体育祭、草木せん定	敬老会・地区体の拡大幹事会、自治会長会、事務会議、組織検討委員会	防災訓練、自主防災会員、自主防役員会		夏祭り	わいわい土曜日セタ	各関係機関のイベント参加、こども会のイベント参加
9	茨木神社秋祭り	第4回役員会、組織検討委員会、臨時役員会	防犯教室、自主防事務局会	スポーツレクリエーション大会、東中フェス実行委員会、役員会			放課後こども教室と打ち合わせ、各関係機関のイベント参加、こども会のイベント参加
10	社会見学バス旅行	地区体育祭、臨時役員会、自治会長会、事務会議	青色パトロール（防犯）、自主防役員会	地区体育祭、運営委員会（文化展）	敬老会、地区運動会、敬老会開催	敬老会、管外研修会	中央大会参加手伝い、秋季大会準備、各関係機関のイベント参加、こども会のイベント参加、
11	もちつき大会、大池まつり、社協募金集め	文化展、第5回役員会議、組織検討委員会、敬老会・地区体の拡大幹事会	施設見学会（自主防）、自主防事務局、委員研修会（避難所開設について）重点的に	大池地区文化展	文化展・ワイワイエプロン	ワイワイエプロン、オレンジリボン街頭キャンペーン	新春フェスタ準備、会議

第1回目 各種団体の理解と共有 編

月	自治会	自治連	自主防	公民館	福祉	民生	こ育連
12	一斉清掃、もちつき大会、12/28～30夜回り、12/31地域清掃	組織検討委員会、臨時役員会（新組織体制）臨時総会、事務会議	12/28.29夜警（防犯）、自主防役員会	忘年会	子育てサロン、夜回り		新春フェスタ準備、会議
1	防災訓練、もちつき大会	第6回役員会議、新組織準備委員会	防災訓練地域全体、自主防事務局会、施設見学（防災センター）	運営委員長懇親会	夜警		新春フェスタ会議（毎週）新春フェアスタ本番
2	次年度の役員決定、住民名簿、困窮者の届け出	新組織準備、事務会議	自主防役員防災訓練地域全体、自主防事務局会	東中実行委員会、年度末館長主事会議	子育てサロン、ワークショップ、会費募集・まとめ	全体研修会	次年度役員決めの準備
3	臨時総会、会費締め、次期総会準備、資料作成、年度末総会、新旧役員引継ぎ、懇親会	第7回役員会、新組織準備期間、年度末総会	自主防事務局会、年度の反省会				引継ぎ、祝会

大池地区のビジョンのヒントを考える

『誰とどう昇るか』
(新組織や組織のあり方)

- ・ こうあってほしいな…
- ・ こうはなりたくないな…

未来

現状

- ・ ここはいいからもっと伸ばしたい
- ・ こんなことが気になっていて…

『一步昇るための行動』
(新組織の事業・取り組み)

どんな状況を生み出すことを目指すのか

まちの「現状」「未来」のキーワードを考える

大池地区のいいところ

ここはウォーミング
アップでやりましたが、
もっとあればぜひ！

現状

大池地区のまちで
気になること

大池地区がもっと
こうなってほしい

未来

大池地区が
こうになったら
嫌だな・・・

まちの「現状」「未来」のキーワードを考える

大池校区の魅力	大池校区の現状課題	大池校区のありたい姿	現状をありたい姿に近づけるために必要なこと
■住環境の良さ ・お店がたくさんあり便利 ・交通の便がよく駅が近い	■住環境に課題が生まれてきた ・自転車、交通マナー、通り抜ける車の増加 ・空き家が増えている	■安心安全/つながりがあるがあるまち ・自己や犯罪のないまち ・住民同士のおつきあい、挨拶があるまち ・世代を超えた関係づくりができるまち ・困っている人を助け合い解決できるまち	■イベント、行事が活発に行われるために ・イベント、行事を見直し、必要なものを残す ・年齢や地域差を考慮した負担の見直し ・SNSなどを活用した情報発信
■地域活動に熱心 ・リーダーが熱心に取り組んでいる ・他地域に先駆けた試みをする気風 ・委員会が多く取り組みが多い	■地域の担い手、運営の課題 ・役員が同じ顔ぶれになっている ・役員の仕事増 ・1人で役をたくさん兼ねる ・若い方が自治会に入らなくなっている ・子ども会にも入らなくなっている		■地域組織の運営が活発に行われるために ・運営の難しい問題が解決していける仕組み 例) 自治会に入っていないなくても子ども会に入れる仕組みがあれば… ・役員の負担を軽減 ・若い人が手伝うことができる仕組み ・若い人にイベントの楽しさを知る体験
■若い世帯が暮らしやすい ・新しい住民を受け入れてくれる ・子育てしやすい	■行事運営の課題 ・年配の方が準備をしている ・行事の参加者が減っている		
	■コミュニケーションの課題 ・一人暮らしの高齢者の増加/孤独死 ・個人情報の壁や近所のことがわからない		

2017年から取り組むアンケート調査と自治会長意見交換会

(8) 継続性のある自治会活動のために何か工夫されていることはありますか

①ある 10 (38.5%) ② ない 14 (53.8%) 未回答 2 (7.7%)



ア 現役員が、次年度役員をサポートする体制をとっている	4
イ 引継ぎ書やマニュアルを作っている	8
ウ その他	1

↓
舟木町：バス旅行、防災施設見学、防災グッズの配布、
三世代交流大会、町内夜間パトロール

4. その他 お尋ねいたします

(1) 貴自治会の課題について話し合いを持たれたことはありますか

①ある 10 (38.5%) ②ない 15 (57.7%) ③未回答 1 (3.8%)

(2) 今回の意見交換会のために、話し合いの場を持たれましたか (持たれますか)

①はい 4 (15.4%) ②いいえ 22 (84.6%)

2017年から取り組むアンケート調査と自治会長意見交換会

3. 未加入世帯についてお伺いします

(1) 自治会への加入促進のために、どのような取り組みを行っていますか（複数回答）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ①口頭での加入呼びかけ 13 | ②独自にチラシ作成配布 3 |
| ③ポスターやチラシを掲示板等に掲示 1 | ④市（連合自治会）が作成したチラシ配布 2 |
| ⑤賃貸住宅のオーナー等に加入を呼びかけ 2 | ⑥未加入者に対して説明会を開始 |
| ⑦新規加入者に記念品 | ⑧事情に応じて、役員免除 5 |
| ⑨事情に応じて、会費免除、減免 | ⑩事情に応じて、活動の一部を免除 3 |
| ⑪何もしない 8 | ⑫その他 1 |

(2) 自治会に加入しない理由は何だと思われますか（複数回答）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ①近所づきあいがわずらわしい 6 | ②加入しなくても困らないと考えている 13 |
| ③活動に関心がない 14 | ④役員になりたくない 16 |
| ⑤メリットがない 8 | ⑥会費が負担 |
| ⑦高齢により活動ができない 19 | ⑧短期的な居住 3 |
| ⑨その他 1 | |

(3) 未加入世帯があることで困っていることは何ですか（複数回答）

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| ①加入世帯側で不公平感が生じている 6 | ②活動への参加者が不足 8 |
| ③運営や活動に手伝う人が不足 6 | ④役員のなり手が少ない 10 |
| ⑤地域の連帯感が薄れている 6 | ⑥自治会費が不足、活動費が十分にまかなえない 3 |
| ⑦どんな人が地域に住んでいるかわからない 8 | ⑧地域のルールが守られない 6 |
| ⑨特に困っていることはない 3 | ⑩その他 |

議論に入る前に…過去の資料をチェック

まずは配布資料を眺めてもらって…

- ・ここはやっぱり課題だな、自分もそう思うということ
- ・書かれていないけど、こういうことも課題なのではないか？
- ・こう書かれているけど根本はここが問題なんだ…

など思いが湧いたところにアンダーラインをひいて

チェックをしてください！

ではまず話し合いのウォーミングアップ

お手元のA4サイズの手紙を4つに区切って

お名前

所属自治会

今年のコロナ禍
をうけて自治会運営は
どうなってますか？

ファシリテーターより

本日のゴール

- ・ コロナ禍の間に各自治会も役員が変わっています
- ・ 過去の話し合いでの意見を現在のメンバーで改めて検討
- ・ 以下の4つの論点で意見交換をしましょう！

- ①話し合われてきた大池の課題や自治会課題に思うこと
- ②これまでの話し合いに加え、あなたの思う自治会運営上の課題は？
- ③これまでの話し合いでの課題を、さらに深掘りすると…？
- ④コロナ禍で生まれた新しい運営上の課題はありますか？

- ・ 次回は実際に課題を解決するためのアイデアを話し合います

地域活動の活性化に向けたワークショップ

よりよい話し合いをするために
ファシリテーターという役割



中立な立場でみなさんが話しやすい環境を整えます

地域活動の活性化に向けたワークショップ

よりよい話し合いのためのお願い

① さまざまな意見がでることを歓迎しましょう！

経緯や原則の解説はほどほどに！

② 私もそう思う！くらいから話していきましょう！

~~×違う意見を言わなければならない？~~

③ 自分の話は簡潔にサクサクと話しましょう！

④ 今日の話はここだけ（責任を忘れる）です！

~~×あの意見よかったからやってよ~~

中立な立場でみなさんが話しやすい環境を整えます

次回のお知らせ

どんな取り組みができるか を考える 編

テーマをもとに「こんな取り組みができるんじゃないか？」というアイデアを考えるためのワークショップ

12月13日（日） 19:00～21:00

OPH茨木大池自治会集会所 大池一丁目12番

前回ワークショップでの意見まとめ

未来の大池を見据えた展開のために ～大池地区まちづくりワークショップ～



まちとしごと総合研究所

全2回のワークショップの内容

日時	テーマ	内容
令和2年11月28日 19時～21時	新自治会長を中心に、自治会 運営課題の共有と洗い出し	昨年度のワークショップの実施から時間が経過し、自治会の役員も年度が変わり、新自治会長に交代しているため、再度これまでの議論の振り返りをメインに実施。これまでの議論をもとにしつつ改めて新自治会長の目線から、共感できること、これまでにない視点などの議論を行った。
令和3年3月20日 19時～21時	第1回テーマからどんな取 組みができるか考える	昨年度議論されてきたことと、前回新たに提示された議論をもとに、「実際にこんな取り組みができないか？」という具体的なアイデアを出し合うワークショップを実施する予定。

第1回は開始時に男女別の配置だったため、男女比の調整を行い3グループを配置

2019年度のワークショップの意見

大池校区の魅力	大池校区の現状課題	大池校区のありたい姿	現状をありたい姿に近づけるために必要なこと
■住環境の良さ	■住環境に課題が生まれてきた	■安心安全/つながりがあるまち	■イベント・行事が活発に行われるために
・お店がたくさんあり便利	・自転車、交通マナー、通り抜ける車の増加	・事故や犯罪のないまち	・イベント、行事を見直し、必要なものを残す
・交通の便がよく駅が近い	・空き家が増えている	・住民同士のおつきあい、挨拶があるまち	・年齢や地域差を考慮した活動の見直し
■地域活動に熱心	■地域の担い手、運営の課題	・世代を超えた関係づくりができるまち	・SNSなどを活用した情報発信
・リーダーが熱心に取り組んでいる	・役員が同じ顔ぶれになっている	・困っている人を助け合い解決できるまち	■地域組織の運営が活発に行われるために
・他地域に先駆けた取り組みをする	・役員の負担が増えている		・運営の難しい問題が解決していける仕組み
・委員が多く取り組みが多い	・1人で役をたくさん兼ねている		例) 自治会に入っていないなくても子ども会に入れる仕組みがあれば…
■若い世代が暮らしやすい	・若い方が自治会に入らなくなっている		・役員の負担を軽減
・新しい住民を受け入れてくれる	・子ども会に入らなくなっている		・若い人が手伝うことができる仕組み
・子育てしやすい	■行事運営の課題		・若い人がイベントの楽しさを知る体験
	・年配の方が準備をしている		
	・行事の参加者が減っている		
	■コミュニケーションの課題		
	・1人暮らしの高齢者の増加/孤独死		
	・個人情報の壁・近所のことわからない		

過去の議論の整理をもとに、以下の観点から意見交換を行う

- ①話し合われてきた大池の課題や自治会課題に思うこと
- ②これまでの話し合いに加え、あなたの思う自治会運営上の課題は？
- ③これまでの話し合いでの課題を、さらに深掘りすると…？
- ④コロナ禍で生まれた新しい運営上の課題はありますか？

前回のワークショップでの意見

1 班	2 班	3 班
会員が運営の仕組みを知らない	自転車、交通ランプなどの設置	通り抜けの車が増えた
話し合いの機会がない	年齢が高い人が多い	若い人たちが参加しやすく
会員の熱量に差がある	子ども会がない	イベント・行事の見直し
苦情をうけるのが大変	年配の人が役をしている	住民年齢に地域差がある
運営方法がわからない	年配の人が準備をしている	年配の方が準備をしている
役割が多い	役員の負担（役割）が増加している	高齢者でもできる行事運営
役員の決め方に困っている	役をたくさん兼ねている	行事のマナー化
回覧板が頻繁にまわる	役員が同じ顔ぶれ	街灯が少ない、不法投棄が多い
地域同士のコミュニケーション	若い人が自治会に入らない	掲示板の有効活用・情報発信
楽しんで活動するには？	リーダー不足	ゴミ問題・一斉清掃の不参加
自治会に入るメリットがない	役のまわりが早い	大学生・中学生の協力
前役員とのやり方の違いで苦情がでる	ゴミの出し方の問題（注意ができない）	ちょいボラ・行事のお手伝い
若い人へ声掛けができていない	書面でのやりとりが難しい	行事準備の曜日を変える・業者に頼る
世帯数の少ない班の負担が大きい	回覧板をまわすのも大変	現行の班の規模の見直し、解体統合
班と自治会ではつながりに差がある	認知症の方は回覧が大変	自治会の会則・基本的な考え方作成
役員の役割を明確にする必要がある	次の役決め、引き継ぎが大変	リーダーの育成
1回役を受けたら1回で済まない	副会長との役割分担	近所付き合いが減った
掲示や情報をもっと見てもらうには？	見習いの仕組み	オンライン会議のしくみ
運営がわからない時は聞いてほしい	行事のよさと大変さがわかった	マスク着用が徹底できていない

①

②

③

④

※色分けの基準は前ページ①～④に左記のように対応

新しいメンバーとの自己紹介

名前

シートの中で気になったテーマ

前回ワーク（11月）からの間の
自分にとってのビッグニュース

本日のワークテーマとゴール

テーブルのメンバーがもしも1つの 「自治会の改革チーム」だったら…

①昨年度・前回のワークショップで抽出した大池地区の6つのテーマ

※今回は「まちの気になる課題」は除きました。

②黄色のゾーン、青色のゾーンからそれぞれ1つずつテーマを選択してください

③そのテーマを解決するアイデアを自由に話し合ってみましょう。

④最後に考えたことを発表し、共有しましょう。

アイデアを出す時に大事なポイント

①「知らんけど」（ホントにできるかどうかはさておき…）

② 日頃まちで暮らす自分、友人、ご近所さんを思い浮かべながら…

前回抽出された意見をもとに整理したテーマ

①自治会同士の共有、規模にあったきめ細かい支援のあり方	④若者が地域へ関わるきっかけづくり
・他の自治会の様子、やり方がわからない ・自治会そのもののあり方を話しあう場がない ・自治会の人数や規模が違っていると、共通のやり方が当てはまらないこともある 【テーマ】 ・自治会、自治会長同士の情報共有や研修の方法とは？ ・人数や規模に応じた適切な自治会運営の方法とは？	・準備に来てくれるのは年配の方が多く、体力的な負担が大きい ・中学生に行事のサポートをお願いできないか ・自治会に加入していなかったり、住んでいないが大池で働いている方から、行事のボランティアを募れないか ・ボランティアを受け入れるためのプログラムづくり ・ちょっとした関わりからリーダーの育成へつなげる循環づくり 【テーマ】 ・地域に関わる若者が増えていくような仕組みづくりとは？ ・自治会に所属していなくても地域に関われる仕組みとは？
②自治会の運営に必要な外部からの支援	⑤地域の情報発信の見直し
・基本的な会則を作成し校区内である程度統一してもいいのではないか ・コロナ禍で書面の作成などが個々の自治会では大変だった ・役員の役割の増加、役がまわってくるのが早い →若い方の辞める理由につながる ・引き継ぎのやり方が難しい、運営方法がわからない →前任者とのギャップがクレームに… 【テーマ】 ・どんな支援が自治会にあると運営がしやすい？ ・自治会だけでは難しいことはなんでしょうか？	・大池の魅力や協議会の魅力を知ってもらう機会づくり ・掲示板をもっと有効活用できないか ・配布物の優先順位づけ、配布負担を減らす ・ホームページの作成や活用 ・ICTやオンライン会議の活用、仕組みづくり 【テーマ】 ・地域のどんな情報をどう発信するといい？ ・地域の情報発信をもっと効率的にするには？
③行事や活動のあり方検討と、見直し整理の方法	⑥まちの気になる課題
・高齢化してもできる運営スタイルの模索が必要 ・年配の役員が多いことをどう考えるか ・イベント、行事の見直しをして整理することが必要 →行事の意味、意義を改めて確認する ・動員しなければならない行事は負担感が大きい 【テーマ】 ・シニア中心でも運営できる活動と行事のあり方とは？ ・誰もが納得感のある活動や行事の見直し方法とは？	・交通問題→自転車マナー、自動車の通り抜け ・街灯が少ない ・不法投棄 ・高齢者の孤独死 ・子ども会の加入やあり方の問題

地域活動の活性化に向けたワークショップ

よりよい話し合いのためのお願い

- ① さまざまな意見がでることを歓迎しましょう！
- ② 私もそう思う！くらいから話していきましょう！

~~×違う意見を言わなければならない？~~

- ③ 簡潔にサクサクと話しましょう！
- ④ 今日の話はここだけ（責任を忘れる）です！

~~×あの意見よかったからやってよ~~

中立な立場でみなさんが話しやすい環境を整えます

1 班	2 班	3 班
会員が運営の仕組みを知らない	自転車、交通ランプなどの設置	通り抜けの車が増えた
話し合いの機会がない	年齢が高い人が多い	若い人たちが参加しやすく
会員の熱量に差がある	子ども会がない	イベント・行事の見直し
苦情をうけるのが大変	年配の人が役をしている	住民年齢に地域差がある
運営方法がわからない	年配の人が準備をしている	年配の方が準備をしている
役割が多い	役員の負担（役割）が増加している	高齢者でもできる行事運営
役員の決め方に困っている	役をたくさん兼ねている	行事のマナー化
回覧板が頻繁にまわる	役員が同じ顔ぶれ	街灯が少ない、不法投棄が多い
地域同士のコミュニケーション	若い人が自治会に入らない	掲示板の有効活用・情報発信
楽しんで活動するには？	リーダー不足	ゴミ問題・一斉清掃の不参加
自治会に入るメリットがない	役のまわりが早い	大学生・中学生の協力
前役員とのやり方の違いで苦情がでる	ゴミの出し方の問題（注意ができない）	ちょいボラ・行事のお手伝い
若い人へ声掛けができていない	書面でのやりとりが難しい	行事準備の曜日を変える・業者に頼る
世帯数の少ない班の負担が大きい	回覧板をまわすのも大変	現行の班の規模の見直し、解体統合
班と自治会ではつながりに差がある	認知症の方は回覧が大変	自治会の会則・基本的な考え方作成
役員の役割を明確にする必要がある	次の役決め、引き継ぎが大変	リーダーの育成
1回役を受けたら1回で済まない	副会長との役割分担	近所付き合いが減った
掲示や情報をもっと見てもらうには？	見習いの仕組み	オンライン会議のしくみ
運営がわからない時は聞いてほしい	行事のよさと大変さがわかった	マスク着用が徹底できていない

過去のワークと同じ意見

新たな論点、過去の意見の深堀り

コロナ禍で感じた・見えたさらなる課題

①自治会同士の共有、規模にあったきめ細かい支援のあり方 ・他の自治会の様子、やり方がわからない ・自治会そのもののあり方を話しあう場がない ・自治会の人数や規模が違うと、共通のやり方が当てはまらないこともある 【テーマ】 ・自治会、自治会長同士の情報共有や研修の方法とは？ ・人数や規模に応じた適切な自治会運営の方法とは？	④若者が地域へ関わるきっかけづくり ・準備に来てくれるのは年配の方が多く、体力的な負担が大きい ・中学生に行事のサポートをお願いできないか ・自治会に加入していなかったり、住んでいないが大池で働いている方から、行事のボランティアを募れないか ・ボランティアを受け入れるためのプログラムづくり ・ちょっとした関わりからリーダーの育成へつなげる循環づくり 【テーマ】 ・地域に関わる若者が増えていくような仕組みづくりとは？ ・自治会に所属していなくても地域に関われる仕組みとは？
②自治会の運営に必要な外部からの支援 ・基本的な会則を作成し校区内である程度統一してもいいのではないか ・コロナ禍で書面の作成などが個々の自治会では大変だった ・役員の役割の増加、役がまわってくるのが早い →若い方の辞める理由につながる ・引き継ぎのやり方が難しい、運営方法がわからない →前任者とのギャップがクレームに… 【テーマ】 ・どんな支援が自治会にあると運営がしやすい？ ・自治会だけでは難しいことはなんでしょう？	⑤地域の情報発信の見直し ・大池の魅力や協議会の魅力を知ってもらう機会づくり ・掲示板をもっと有効活用できないか ・配布物の優先順位づけ、配布負担を減らす ・ホームページの作成や活用 ・ICTやオンライン会議の活用、仕組みづくり 【テーマ】 ・地域のどんな情報をどう発信するといい？ ・地域の情報発信をもっと効率的にするには？
③行事や活動のあり方検討と、見直し整理の方法 ・高齢化してもできる運営スタイルの模索が必要 ・年配の役員が多いことをどう考えるか ・イベント、行事の見直しをして整理することが必要 →行事の意味、意義を改めて確認する ・動員しなければならない行事は負担感が大きい 【テーマ】 ・シニア中心でも運営できる活動と行事のあり方とは？ ・誰もが納得感のある活動や行事の見直し方法とは？	⑥まちの気になる課題 ・交通問題→自転車マナー、自動車の通り抜け ・街灯が少ない ・不法投棄 ・高齢者の孤独死 ・子ども会の加入やあり方の問題

名前

シートの中で気になったテーマ

前回ワーク（11月）からの間の
自分にとってのビッグニュース